

研究科 /Graduate School	文学研究科
課程 /Program	博士課程 前期課程
専攻・コース等 /Major, Course	人文学専攻 哲学専修
入試方式 /Admission Method	一般入学試験
試験科目 /Exam Subject	専門科目
実施年月日（試験日） /Exam Date	2025年9月6日
解答又は解答例及び出題意図 Answer or example of answer Intent of the question (試験問題自体を公開しない場合はその理由) (Reasons for not publishing exam questions)	
<p><b>【1】</b></p> <p>出題意図：哲学・倫理学における基本的な語句の理解と、その背景となる基本的な哲学・倫理学的知識を問うている。下記の3点を評価の観点とする。</p> <p>①語句の由来（誰の／どのような著作に現れる語句か）が適切に説明されているか</p> <p>②語句そのものの内容（意味）が適切に説明されているか</p> <p>③語句の評価（特定の哲学者・思想に占める当該語句の役割や位置付け、当該語句が同時代・後世の思潮にもたらした影響力や重要性、など）が適切に説明されているか</p> <p><b>【2】</b></p> <p>出題意図：英語の哲学文献に即した出題を通じて読解力を確かめるとともに、その読解の前提となる基本的な哲学・倫理学的知識を問うている。</p> <p>〔設問1〕〔設問3〕①英語の文法事項を踏まえて訳されているか、②テキストの文脈に即して適切に訳されているか、③哲学の術語を踏まえた訳語が選択されているかを評価基準とする。</p> <p>〔設問2〕エムペドクレス／ヘラクレイトス／タレス／アナクシメネス</p> <p>〔設問4〕Being and Time</p> <p>〔設問5〕想起。①この語句の由来（誰の／どのような著作に現れる語句か）が適切に説明されているか、②この語句そのものの意味（内容）が適切に説明されているかを評価基準とする。</p>	

研究科 /Graduate School	文学研究科
課程 /Program	博士課程 前期課程
専攻・コース等 /Major, Course	人文学専攻 哲学専修
入試方式 /Admission Method	一般入学試験
試験科目 /Exam Subject	専門科目
実施年月日（試験日） /Exam Date	2026年2月8日
解答又は解答例及び出題意図 Answer or example of answer Intent of the question (試験問題自体を公開しない場合はその理由) (Reasons for not publishing exam questions)	
<p><b>【1】</b></p> <p>出題意図：哲学・倫理学における基本的な語句の理解と、その背景となる基本的な哲学・倫理学的知識を問うている。下記の3点を評価の観点とする。</p> <p>①語句の由来（誰の／どのような著作に現れる語句か）が適切に説明されているか</p> <p>②語句そのものの内容（意味）が適切に説明されているか</p> <p>③語句の評価（特定の哲学者・思想に占める当該語句の役割や位置付け、当該語句が同時代・後世の思潮にもたらした影響力や重要性、など）が適切に説明されているか</p> <p><b>【2】</b></p> <p>出題意図：英語の哲学文献に即した出題を通じて読解力を確かめるとともに、その読解の前提となる基本的な哲学・倫理学的知識を問うている。</p> <p>〔設問1〕 ①René Descartes ③Immanuel Kant</p> <p>〔設問2〕〔設問4〕 ①英語の文法事項を踏まえて訳されているか、②テキストの文脈に即して適切に訳されているか、③哲学の術語を踏まえた訳語が選択されているかを評価基準とする。</p> <p>〔設問3〕 ④『告白』（または『神の国』） ⑤『エッセー（随想録）』</p>	

研究科 /Graduate School	文学研究科
課程 /Program	博士課程 前期課程
専攻・コース等 /Major, Course	人文学専攻 哲学専修
入試方式 /Admission Method	一般入学試験
試験科目 /Exam Subject	外国語科目（英語）
実施年月日（試験日） /Exam Date	2026年2月8日
解答又は解答例及び出題意図 Answer or example of answer Intent of the question （試験問題自体を公開しない場合はその理由） (Reasons for not publishing exam questions)	
<p>問題(1)</p> <p>出題意図：英語での哲学の議論の読解能力とその背景となる基礎知識の習得の度合いを測ることを意図している。下記の点を評価の観点とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 語彙・文法の両面で英語を正確に読解できているか。</li> <li>2. 哲学的論点（何が論証の前提であり結論であるか、対比させられている見解は何か等）を理解できているか。</li> <li>3. 上記を適切な日本語で表現できるか。</li> </ol> <p>問題(2)</p> <p>出題意図：文章全体を咀嚼したうえで、キーコンセプトを自分なりの言葉で、簡潔に表現できるかどうかを問うている。</p> <p>解答例：概念的思考や命題の内容</p> <p>問題(3)</p> <p>出題意図：問題文の内容を、特定の哲学者 2 人の思想についての基礎知識を用いて、適切に読解し、表現できるかを問うている。</p> <p>解答例：デカルトは、心と物体を、それらが異なる「性質」をもっている（前者は表象能力をもつが後者はもたない）ということでもって実体として区別した。他方カントは、両者を性質ではなく、それらがそれぞれ従う「適切さ」の観点から区別した。心の抱く思考は「正しい／間違っている」という評価を受けるが、物体のふるまいはたんに法則的なものであり、そうした評価は受けない。</p>	

研究科 /Graduate School	文学研究科
課程 /Program	博士課程 前期課程
専攻・コース等 /Major, Course	人文学専攻 哲学専修
入試方式 /Admission Method	一般入学試験
試験科目 /Exam Subject	外国語科目（ドイツ語）
実施年月日（試験日） /Exam Date	2026年2月8日
解答又は解答例及び出題意図 Answer or example of answer Intent of the question （試験問題自体を公開しない場合はその理由） (Reasons for not publishing exam questions)	
<p>出題意図：ドイツ語の哲学文献に則した出題を通じて読解力を確かめるとともに、その読解の前提となる基本的な哲学・倫理的知識を問うている。</p> <p>〔設問1〕①ドイツ語の文法事項を踏まえて訳されているか、②テキストの文脈に即して適切に訳されているか、③哲学の術語を踏まえた訳語が選択されているかを評価基準とする。</p> <p>〔設問2〕『論理学研究』</p> <p>〔設問3〕解答例 アリストテレス以来の哲学の伝統とフッサールは、「直観（Anschauung）」という語を無媒介的表象という意味で理解している点は共通であるが、前者がこの無媒介性を総合的な媒介性（論弁的な思考）と対比させているのに対し、後者がこの無媒介性を単なる思念と対比させているという点で異なる。したがってアリストテレス以来の伝統とは異なり、フッサールにおいては、同一の内容をもった表象が、対象の与えられ方に応じて直観的であったり非直観的であったりする。つまりフッサールによれば、直観的であるというのは、単純であるということではなく、そこにおいて対象そのものが与えられているということなのである。</p>	